



## 平成 23 年度総会資料



と き 平成 23 年 6 月 21 日(火) 13 時

ところ ウエストパーク松阪(松阪市伊勢寺町)

**三重の畜産女性の会 サン・カラット**

所在地 津市桜橋 1 丁目 649 番地  
農業共済会館 (社)三重県畜産協会内

## 平成 22 年度事業報告

平成 22 年度の畜産業界は思いもよらない惨禍に見舞われました。宮崎県で発生した口蹄疫は地域内の惨状は言うに及ばず、もと牛を同県に依存する三重県にも大きな影響を与えました。

また、県内では高病原性鳥インフルエンザが発生しましたが、農場自身の事前の危機管理体制のすばらしさもさることながら、県行政の皆さんを始めとする昼夜を問わない事後処理や支援のおかげで早期に終息することができ、今は経営再建に向けて着実に歩んでみえるようです。

さらに本年 3 月には、東北を中心として東日本大震災が発生しました。未曾有の被害が出た被災地では、復旧も進んでいるようですが、まだまだ先の長い復興への道のりが始まったところです。この場をお借りして東日本大震災による被災地の皆様には、お見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

このような今まで想定もしなかったような災害は世界の経済活動にも波紋を広げ、国内では自粛ムードによる消費の冷え込みや反対に供給量の減少により畜産物の市況価格にも影響を与えています。

明るいニュースが少ないものの、サン・カラット会員間や全国組織の全国畜産縦断いきいきネットワーク会員間では、互いに声を掛け合いながら仲間意識がさらに強くなってきているようにも感じています。

### 1 総会

- ・とき：平成 22 年 6 月 23 日（水）
- ・ところ：ウエストパーク松阪（松阪市伊勢寺町）
- ・出席者数：総数 34 名（うち会員 20 名）
- ・協議内容：平成 21 年度事業実績の報告、平成 22 年度

事業計画の提案

小林代表世話人から「サン・カラット活動では、畜産業を離れ、湯の山温泉女将の会との交流の場を持つなど、新しい試みも展開してきた。平成 22 年度も積極的な姿勢で、予定している企画に参加いただきたい。」と挨拶がありました。

来賓として三重県農水商工部農畜産室の赤松室長、三重県農業協同組合中央会くらしの活動推進部の葛西部長のお二人にご臨席いただき祝辞をいただきました。



### 2 研修会等の開催・参加

1) 会員による事例（意見）発表会の開催

- ・とき：（総会終了後）
- ・ところ：（総会会場と同じ）
- ・発表いただいた内容は次のとおりです。（発表順）





川北淳子さん（鈴鹿市、採卵鶏）『忙しい中から生み出す自分たちの時間』

大西京子さん（津市、養豚）『こだわりの豚肉「頑固おやじのぶた」の生産と販売』

竹内友子さん（多気町、肉用牛）『ピンチとチャレンジは自分磨きの最大のチャンス！』

発表内容は、ご主人との出会いや家族のために休む間もなく働いてきたことへの感謝、共に支え合ってきた思い出など、気持ちのこもったものでした。

発表に際して、事前をお願いしたことは、『ご主人のことを盛り込んで下さい。』ということでした。これに対し事務局からはご主人からメッセージをいただき、発表後にご披露させていただきました。



## 2) 漁協・酪農・畜産・JA女性部交流会への参加

- ・とき：平成 22 年 11 月 4 日（木）
- ・ところ：華王殿（松阪市高町）
- ・出席者数：総数 143 名（うちサン・カラット会員 11 名）

### 《事例報告》

関係する女性組織から次の事例発表がありました。

「お茶農家に嫁いで」JA 松阪女性部 辻根 直美さん

「ピンチとチャレンジは自分磨きの最大のチャンス」

サン・カラット 竹内 友子さん

「牛乳に相談だ」三重県酪農女性会議 江尻 久子さん

サン・カラット代表として発表いただいた竹内さんの経営は、当初、酪農経営でしたが、主力となっていたお母さんの入院もひとつのきっかけとなり肉用牛肥育経営に転向。肥育については試行錯誤の中で苦労話も次々にある中で、お互いを「良きパートナー」と呼べる夫婦の力で乗り切ってきたというお話でした。

### 《2分間スピーチ》

胸に抱いた思いを 2 分間にギュギュッと凝縮して、川北淳子さん、窪田優子さんのお二人に発表してもらいました。



### 《コンサート》

毎年、記念講演となる午後の時間を利用して、「ひだ

まり」がフォークコンサートを開きました。「ひだまり」は、会員の川北淳子さんご夫婦がメンバーとして活躍するグループで、「かぐや姫」のカバーを中心に活動しています。

この日も懐かしい歌で会場を沸かせていました。



### 3)料理教室（三重県畜産協会事業）

- ・とき：平成 23 年 1 月 12 日（水）
- ・ところ：津市橋北公民館アスト津（津市）
- ・出席者数：総数 24 名（うちサン・カラット会員 15 名）



この料理教室は、地元産豚肉の周知と販売拡大等を目的に三重県畜産協会が実施する畜産経営改善支援モデル事業の一環として開催されたものです。



今回は「即席焼豚」「豚角煮」「豚バラ肉の煮込み」「水餃子」の 4 品の作り方を学びました。

畜産を支える基本は消費です。厳しい畜産情勢に打ち勝つには、行政からの支援も必要ですが、畜産仲間で消費拡大にも取り組んでいきましょう。



### 4)仲間づくり交流会（三重県畜産協会事業）

- ・とき：平成 23 年 2 月 2 日（火）
- ・ところ：志摩市文化会館（志摩市）

この交流会は畜産関係団体調整機能強化事業として三重県畜産協会が事業の一環として開催したもので、志摩市（旧志摩町）の旅館・民宿等の女将さんたちが組織する「志摩いそぶえ会」の活動を調理を通して体験しました。

この会は地元産の海産物を使った郷土料理を創作し、県内各地で開催されるイベント会場等で志摩地域の振興を目的に活動しています。

今回の交流会は、レシピのない調理教室としての企画で、参加した海の人と畜産の人とのコラボレーションで調理を進めました。

### 5) 第 23 回農山漁村のつどいへの参加

- ・とき：平成 23 年 2 月 23 日（水）
- ・ところ：三重県総合文化センター（津市）
- ・出席者数：総数 211 名（うちサン・カラット会員 3 名）



#### 《講演》

「愉しむ・伝える・繋ぐ」講師：暮らし考房主宰栗田キエ子さん（山形県）

自然の素晴らしさを知り地域の素材を活かした活動に取り組んできた栗田さんは、地域で発見した楽しさは外に対して情報発信していくことが大切であり、活動を通して生活が豊かになると気分も豊かになると講演されました。

#### 《活動事例発表》

「水産環境保全と特産品づくり活動」報告：三鬼美智加さん（三重外湾漁協）

「地元産小麦で食育活動」報告：伊藤良子さん（A g r i ロマン桑員）

「三重県の食育の取り組み」報告：谷智子さん（三重県農水商工部マーケティング室）

地域の特産品や地域環境を活かした地域振興に取り組む活動事例の報告と県が実施する食育の意義や役割について報告がありました。

### 3 会員間の情報交換、活動内容の広報等

#### 1) 会員誌の発行

サン・カラット通信第 11 号 (平成 22 年 7 月発行)

- ・ ウェストパーク松阪で総会・研修会を開催
- ・ 会員による意見発表会、同発表者からの寄稿
- ・ 新婚さん、いらっしゃあ~い

サン・カラット通信第 12 号 (平成 22 年 12 月発行)

- ・ 漁協・酪農・畜産・JA 女性部交流会に参加しました
- ・ フォークグループ「ひだまり」コンサート
- ・ テーマは「がんばれ宮崎！口蹄疫について考える」
- ・ 牛が消えた日 (冊子の紹介)
- ・ 今後の予定のお知らせ

サン・カラット通信第 13 号 (平成 23 年 3 月発行)

- ・ 豚肉料理の勉強会
- ・ 志摩いそぶえ会との交流
- ・ いそぶえ会との交流を通して (寄稿)
- ・ 第 23 回農山漁村のつどいに参加
- ・ 畜産関係団体調整機能強化事業に係る支援生産者組織交流会

#### 2) 事務局通信の発行

事務局通信 (平成 22 年 10 月)

- ・ 全国畜産縦断いきいきネットワーク大会開催のご案内

#### 3) ホームページによる情報発信

三重県畜産協会のホームページ「三重の畜産広場」内のサン・カラットのサイトでは、会の紹介、会員募集、トピックス等の活動状況を広報しました。

(サン・カラット URL <http://mie.lin.gr.jp/san/> )



#### 4 その他、会の運営等に関する活動

##### 1) 世話人会の開催

- ・とき：平成 22 年 5 月 11 日（火）
- ・ところ：三重県教育文化会館（津市）
- ・出席者：サン・カラット世話人
- ・協議内容：平成 21 年度実績、平成 22 年度活動計画等

京都府下で開催が予定されている全国畜産縦断いきいきネットワーク主催による「行政との意見交換会」等についても会員に紹介し勧めていくこととしました。

なお、この会議は、畜産協会が実施する畜産関係団体調整機能強化事業の一環として開催されたものです。

##### 2) 全国畜産縦断いきいきネットワーク大会への参加

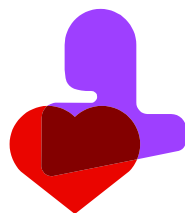
- ・とき：平成 22 年 12 月 7 日（火）
- ・ところ：中野サンプラザ（東京都中野区）
- ・出席者：49 名（三重県から会員 4 名、会員外 2 名、畜産協会 1 名）

今回の開催は当初 6 月に予定されていましたが、口蹄疫の発生により 12 月の開催になりました。大会では口蹄疫をテーマとされ、惨禍に見舞われた宮崎県の肉用牛生産者の生の体験談を聞くことができました。

大会では、恒例の 2 分間スピーチや元酪農家の村上さんによるライブショーで活気ある内容となりました。

##### 3) 宮崎県で発生した口蹄疫禍への支援

会員等の有志から寄せられた支援状況については昨年度の総会時に中間報告しましたが、その席でさらにご厚意をお願いしたところ、最終的に 18 名の会員等から 155,000 円の支援金が寄せられ、これを全国畜産縦断いきいきネットワークを通して、宮崎県内の同組織会員のもとへお届けできました。



## 5 平成 22 年度収支報告

### 三重の畜産女性の会サン・カラット

#### 平成 22 年度収支計算書

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

#### 1) 収入の部

科目	予算額	決算額	差異 -	備考
会費	200,000	170,000	30,000	5,000 円 × 34 会員分
寄付金	0	0	0	
特別事業費	20,000	18,000	2,000	昼食会負担金 1,000 円 × 18 人
雑収入	150	72	78	預金利息
当期収入合計(A)	220,150	188,072	32,078	
前期繰越収支差額	232,417	232,417	0	
収入合計(B)	452,567	420,489	32,078	

#### 2) 支出の部

科目	予算額	決算額	差異 -	備考
特別事業費	168,800	118,312	50,488	表外 1 参照
会議費	1,800	0	1,800	
会場費	20,000	0	20,000	
旅費交通費	52,000	1,520	50,480	事務局延べ 6 回
通信運搬費	22,400	31,480	7,190	切手代 26,590 円、電話 FAX3,000 円
消耗品費	9,600	6,000	3,600	事務消耗品費 6,000 円
賃金	60,200	53,900	6,300	事務局 7 日分
事務諸経費	9,600	1,890	7,710	振込 1,890 円
雑費	5,000	0	5,000	
当期支出合計(C)	349,400	211,212	133,188	
当期収支差額 (A)-(C)	129,250	23,140	106,110	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	103,167	209,277	106,110	

1 特別事業費 (118,312 円) の内訳

会議費 45,100 円 総会時昼食会 39,900 円、総会お茶代 3,400 円  
農山漁村のつどい弁当代 1,800 円

会場費 9,000 円 総会会場費

負担金 64,212 円 J A 交流会 32,714 円、いそぶえ会交流会材料費 31,498 円  
畜産協会ふれあい事業調理参加費 8,000 円

参照：畜産協会事業「畜産関係団体調整機能強化事業」からの支援

交流会開催会場費 3,000 円、会議費 22,393 円、講師謝金 27,720 円、通信運搬費 4,015 円等、同  
事業費合計で 167,798 円の助成があった。

宮崎県口蹄疫への支援金 155,000 円 (会員、会員外計 18 名)

三重の畜産女性の会サン・カラット規約第 14 条により上記のとおりご報告します。



## 平成 23 年度事業計画（案）

前年度は、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ、東日本大震災といった非日常的な出来事に翻弄された年でした。

それぞれの惨禍を経験せざるを得なかった皆さまには心からお見舞い申し上げ、また一日も早い復旧・復興をお祈りするところです。一方、報道されるニュースや話題の中からは、「こんな時だからこそ、皆で力を合わせていこう」という仲間がいることが本当に大きな力になっているということをとくさんの場面で感じているところです。

私たち、サン・カラットの仲間も家族や仲間と共に自らを向上させ、厳しい経済情勢に立ち向かえる力を蓄えつつ、いつも周囲には共に喜び合え、支え合える仲間がいることを実感できるような活動を発展させていきたいと感じています。

今年も「会員の研鑽・交流」「情報発信、情報交換」「消費者等との交流」などを活動の柱にして、活動していきたいと思っておりますので、企画、具体案などについて積極的で幅広いご意見や要望を寄せていただくようお願いいたします。

決して、悠々とした時代ではないと思っておりますが、仲間が集まれば、いつの間にか元気がわき出てくるようなサン・カラットでありたいと願っています。



### 1 研修、会員相互の交流等の活動

飼料費の高騰では、無駄を省いた経営の重要性や資源循環に目を向けていく必要性について考えられました。口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生では、防疫体制の重要性や消費者への正しい情報提供を再認識させられる結果となりました。

私たち畜産に携わる女性も家族や仲間と共に幅広く高度な知識を身につけていくことが求められています。

サン・カラット活動の中では、独自に開催する勉強会や関係する組織が開催する研修会等で自身のスキルアップを図りながら、会員相互の交流も図っていきましょう。

また、サン・カラットと同じ主旨で活動を続ける「全国畜産縦断いきいきネットワーク」や畜産以外の場で活動する組織の間にも交流の輪を広げたいと思っております。

#### 1) サン・カラット研修会

とき：平成 23 年 6 月 21 日（火）（総会終了後）

ところ：ウエストパーク松阪

テーマ：家畜防疫

内容： 会員による朗読劇

講演：演題「何が起きたのか。そしてどうすればいいのか。」

講師 南勢養鶏株式会社 代表取締役 萩原 真郎 氏



## 2) 漁協・酪農・畜産・JA女性部交流会

とき：平成23年9月6日（火）

ところ：三重県総合文化センター多目的ホール

内容：講演：TVドラマ「高校生レストラン」でご存じの「まごの店」仕掛け人  
多気町まちの宝創造特命監岸川政之さんにお話いただきます。

2分間スピーチ：参加者募集中

映画「アンダンテ ～稲の旋律～」 <http://andante.symphie.jp/>

## 3) 農山漁村のつどい

## 4) 料理講習会

## 5) 研修会、交流会

## 2 情報発信・情報交換による交流

会員が一堂に会し情報を交換したり親交を深めたりすることは、会員相互の交流を進めるために非常に大切な部分であると思いますが、現実的にはなかなか望めないことです。

この穴を埋めるツールとして会員誌の発行やホームページからの情報発信に努めていきたいと思います。活動状況を外に向けて発信すれば、いずれこれに対する反応が現れることでしょう。

会員の皆様には寄稿、投稿もお願いしますのでご協力下さい。

### 1) 会員誌の発行

会の活動状況や日頃の会員の皆さんのようすを伝える手段として、会員誌「サン・カラット通信」を年4回発行する予定です。

会員の皆様には寄稿、投稿もお願いしますのでご協力下さい。

### 2) ホームページによる情報発信

会員誌で会の活動状況をお伝えすると同時に、会員以外への情報発信という役割を持たせてインターネット上でもサン・カラットの活動情報等を発信していきます。

インターネットホームページ「三重の畜産広場」の一角に「サン・カラット」のコーナーを設け、ここで情報発信を行っていきます。

(サン・カラット URL <http://mie.lin.gr.jp/san/>)

### 3) その他の情報提供

サン・カラット会員の皆さんの活躍場面を「通信」やファックスまたはメールにより、随時情報提供します。

事務局へ気軽に情報をお寄せ下さい。

例：「テレビに出ます！」「誌で紹介されました！」「新商品を新発売！」・・・

### 3 畜産物の消費拡大へ向けての活動

元気で安定した畜産経営であるためには、高い技術で美味しく良質な畜産物を提供しなければなりません。これを基礎として、消費者の皆さんに積極的に牛乳、お肉、タマゴなどを勧めていくことは、女性ならではの役割でもあります。

そのためには、まず私たちが畜産や畜産物について学び、正しい知識を提供しながら消費者の皆さんに畜産や畜産物への理解を深めていきたいと思えます。

### 4 その他会の運営に必要な活動

世話人会では、一人でも多くの会員の皆さんに参加していただけるような活動内容を検討し、満足していただけるように努めています。

しかし、この会を動かすのは世話人だけではありません。会の活動が魅力的なものにできるように皆さんの声をお聞かせ下さい。

また、全国各地には私たちサン・カラットと同じような目的をもって活動している畜産女性組織があったり、全国レベルでは「全国畜産縦断いきいきネットワーク」が熱い想いを結集して活動しています。

一歩、二歩、積極的に踏み出してみましよう。



## 三重の畜産女性の会

# サン・カラットへのお誘い

三重の畜産を支える女性の皆さんが交流できるグループを作りたいと思えます。一人ひとりの小さな力もたくさん集まれば、それはひとつの大きな力になるでしょう。なにか、新しい芽を皆で育ててみませんか。

- 1 会員相互の交流を深めましよう。情報の交換も積極的に！
- 2 経営向上のために研修の機会をもちましよう。
- 3 消費者の皆さんに畜産の理解を深めてもらいましよう。
- 4 将来の経営のためにいろいろな課題について語り合いましよう。
- 5 会員の意見による活動を進めましよう

・・・他にも取り組みたい活動イロイロ！  
皆でまず一歩！これがスタートです。



## 5 平成 23 年度収支予算

### 三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 23 年度収支予算(案) (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

#### 1) 収入の部

科目	予算額	前年度 予算額	差異 -	備考
会費	175,000	200,000	0	会費 5,000 円 × 35 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	20,000	20,000	0	参加費 1,000 円 × 20 人 × 1 回
雑収入	150	150	0	預金利息
当期収入合計(A)	195,150	220,150	250	
前期繰越収支差額	209,277	232,417	23,140	
収入合計(B)	404,427	452,567	48,140	

\* サン・カラット会員の年会費は 5,000 円とする。納入は 7 月末日までをお願いします。

振込先 銀行名 三重県信用農業協同組合連合会本店  
口座名義 三重の畜産女性の会  
口座種別 普通預金 口座番号 0003584

#### 2) 支出の部

科目	予算額	前年度 予算額	差異 -	備考
特別事業費	179,000	168,800	10,200	表下 1 参照
会議費	600	1,800	1,200	100 円 × 6 人 × 1 回
会場費	15,000	20,000	5,000	10,000 円 × 1 回、5,000 円 × 1 回
旅費交通費	32,000	52,000	20,000	3,000 円 × 4 回、5,000 円 × 4 人 × 1 回
通信運搬費	28,800	22,400	6,400	90 円 × 35 人 × 8 回、300 円 × 12 ヶ月
消耗品費	6,000	9,600	3,600	500 円 × 12 ヶ月
賃金	53,900	60,200	6,300	7,700 円 × 7 日
事務諸経費	6,000	9,600	3,600	500 円 × 12 ヶ月
雑費	5,000	5,000	0	その他雑費 5,000 円
当期支出合計(C)	326,300	349,400	23,100	
当期収支差額 (A) - (C)	131,150	129,250	1,900	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	78,127	103,167	25,040	

#### 1 参照(特別事業費)

会議費	96,000	2,000 円 × 20 人 × 1 回 4,000 円 × 10 人 × 1 回 800 円 × 15 人 × 1 回 100 円 × 40 人 × 1 回	謝金	18,000	18,000 円 × 1 回(講師)
会場費	12,000	12,000 円 × 1 回	印刷製本費	6,000	2,000 円 × 3 回(コピー)
旅費	3,000	3,000 円 × 1 回(講師)	通信運搬費	14,000	80 円 × 35 人 × 5 回
			負担金	20,000	1,000 円 × 20 人 × 1 回
			材料費	10,000	10,000 円 × 1 回(食材)

